

ちょうふ環境市民会議 第 11 回定期総会 議事録

2019.5.19 (日) 14:30~16:30 あくろす研修室 3

出席理事：安部・岡部・里・大村・石川・山本・紺野・鍛冶・中原 (監事)赤川

出席会員：児島

出席団体：入間・樹林の会・野川とハケの森の会・ELFIN・若葉緑地の会

委任状：29 票 (ハガキ 2 メール 27) 計 44 *定足数 23 (会員総数 68 の 1/3)

開会 14:30 (司会：里理事)

1. 開会挨拶：安部代表理事

お忙しいところ総会にご参加いただきありがとうございます。2018 年度は新たな受託事業として環境基本計画協働推進事業をはじめ、深大寺・佐須の公有地有効活用、緑と公園課からの国分寺崖線ウォーク事業、先進事例学習事業の 2 事業など、ほぼ予算も 2 倍となる事業を実施しそのことに追われた 1 年でした。会員の皆様にご協力いただきながら慌ただしい 1 年でした。(事務局長の急逝などがありながら) 無事に報告書を提出することができたこと感謝申し上げます。

2. 議長選出：岡部 理事にお願いしたい。(安部代表理事より指名)

3. 議事審議

議長：定足数確認 定足数 23 のところ委任状含む 44 の出席。本日の総会は成立した。

書記任命：鍛冶 議事録署名人 任命：赤川・安部

議案提案 (安部代表理事)

第 1 号議案 2018 年度事業報告

2018 年度の主な活動として「環境基本計画協働推進」を受託し基本計画の中の様々な項目について検討してきたこと、深大寺・佐須地域の公有化した土地の管理をしながら暫定利用の仕方を提案してきたことなどがあります。また今までは環境政策課からの受託事業だけでしたが、緑と公園課からも受託し、「緑の国分寺崖線ウォーク」の開催と「緑地保全のための先進事例学習事業」では職員と環境市民会議理事が共に学び情報を共有できたという収穫がありました。

1. 組織運営について 理事会・運営会議・懇談会(環境政策課・緑と公園課・環境市民会議)について説明。昨年度は理事 10 名のうち 1 人が辞め、事務局長の突然の逝去と重なり、後半は 8 名の体制で行いました。 会員動向の読み上げ。

2. 事業報告 以下の事業報告について安部が議案書を読み上げました。

<自主事業>

(1) 交流事業

① 雑木林連絡会

② イベント参加・活動 P R

(2) 広報事業

＜受託事業＞

- (1) 雑木林ボランティア講座運営事業
- (2) 環境保全団体・市民の交流事業
- (3) エコライフ推進プログラム事業（ゴーヤ苗配布）
- (4) 自然環境活用事業
- (5) 深大寺・佐須地域環境資源管理・活用委託事業
- (6) 調布市環境基本計画協働推進検討事業
- (7) 国分寺崖線ウォークイベント事業

未来のエネルギー協議会が本日の出席会員である児島氏（グッドモーニング仙川）のハチミツを買い上げたことで素敵な参加賞を配布できました。（大村）

- (8) 緑地保全のための先進事例学習事業

議長：以上の報告について質問ありますか。

Q. 2018年度の活動方針にあった「市民向け環境情報の受発信の基地等についても検討」とは市民会議がデータ保管などに使う場所のことですか。

A. そうです、ちょうふ環境市民会議としての事務所ということで、シェアオフィスなどの案も出ていますが、費用の問題が大きくなかなか実現できません。

議長：よろしいでしょうか、他になければ次へ進みます。

第2号議案 2018年度収支報告（中原理事）

収支報告を読み上げ報告した。受託事業が増えたことにより理事からの寄付金が大幅に増えました。特別会計としての積立金のうちPCに関しては理事会において「すぐに必要とは認められない」と考え積み立ては中止としました。

第3号議案 2018年度監査報告（赤川監事）

収支報告書・証書類が適正に処理表示されていること、また事業運営も適切にされています。

ただ 理事2人が年度途中になくなったことは通常では考えられない事態です。収支報告の細かさに比べ、こういう事態が起きたときの規定がはっきり規約として表明されていませんがこのままでいいのか検討する必要があります。

議長：1～3号議案について承認でよろしいですか。

◇第1・2・3号議案を拍手で承認。

第4号議案 2019年度事業計画（安部代表理事）

5つの自主事業と7つの受託内容について内容を読み上げた。

前年度に続いて「環境基本計画協働推進」新たな講座など責任ある事業を受託しているので、会員の協力を得てPJをすすめていきたい。

＜自主事業＞

- (1) 交流事業

各種イベント参加・雑木林連絡会

(2) 活動推進事業

西部公民館と共にマイクロプラスチックに関する講演会・カニ山でのしめ飾り作り

(3) 広報事業

自然だよりは年4回の季刊とする

(4) 調査研究

行政と情報を共有・交換するため昨年度の受託事業であった「緑地保全のための先進事例見学」を今年度は自主事業として引き続き行いたい。

(5) 提言活動

環境基本計画の実施状況その他、常にアンテナを高くし得た情報から提言をしていきます。

<受託事業>

(1) 雑木林ボランティア講座運営事業

(2) 環境保全団体・市民の交流事業

(3) エコライフ推進プログラム事業（ゴーヤ苗配布）

(4) 自然環境活用事業

(5) 深大寺・佐須地域環境資源管理・活用委託事業

(6) 調布市環境基本計画協働推進検討事業

(7) 国分寺崖線ウォークイベント事業

第5号議案 2019年度予算（中原会計理事）

予算案読み上げ。

寄付金は昨年度より減るとおもわれるが、その他はほぼ例年並みの予定。

議長：赤川監事から提案のあった環境市民会議の体制と規約についてここで討議しますか。またはいったん閉会として自由懇談としますか。

理事：「自然学習の会」が解散となったため代表だった杉山さんが寄付金をくださるとのこと。簡単な挨拶をしていただきたいので、閉会で良いと思います。

◇第4・5議案を拍手で承認。

4. 議長・書記解任

5. 閉会挨拶（司会里）

閉会 16:30

この議事録が正確であることを証します。

2019年5月31日

議事録署名人 赤川 忠明

同 安部 宝根

以下は総会閉会後の雑談

- ・自然学習は10年間活動してきました。東急環境財団からいただいたお金が残っていましたので、やはり環境関連の会に寄付して役だてていただきたいと思い、50000円を寄付します。

環境市民会議でも是非子どものための環境学習を開催していただきたいです。

(元 自然学習の会代表 杉山)

その他

受託プロジェクト催行への人手不足

子ども向けの楽しいイベントもやりたい。

環境市民会議会員団体との連携？ 子どもといっしょに参加する若い親たちを取り込みたい。